

舞踊における幼児指導の現状

－音楽の使用状況に関する一考察－

日本女子体育 稲毛博美・日本女子体育 今村 文
 大学大学院 大学大学院

1 はじめに

現代の舞踊は、他の芸術分野とのコラボレートを進める傾向が見られ、芸術活動に対する文化庁助成においてもコラボレートを促進する一文が盛り込まれる。特に音楽との関係は深く、教育の場においては音楽と様々な関わり方ができる基礎を養成する事が求められる。音楽著作権の適用範囲見直しも検討される現在、クラス内の音楽の役割を確認する作業が必要であろう。

本研究では、特に幼児期における指導に焦点を当て、民間の舞踊教室における実際を報告する事により、今後の方向性を探る。

2 方法

- 1) 指導者に対するアンケート*の実施
- 2) クラスの音楽使用時間の計測
- 3) クラスのビデオ撮影・分析

※指導者：指導歴1～30年・A～H・8名

クラス：45～80分・1～25人（延べ27教室）

実施：平成12年10～11月

内容：①基礎データ・使用音響機材・レッスン内容と目的・指導上の留意点等
 ②使用曲・曲調・使用目的等

3 結果

アンケート項目「レッスン目的・指導の留意点」における音楽に関するコメント（抜粋：表1）は0～67%を占め、リズム感養成、楽しさの誘発等に関する記述が見られた。

指導者は、作品練習だけの目的ではなく、ウォーミング・アップ時等、広い範囲で音楽を利用し、音楽の持つリズムに乗る事により、リズム感を養い、また、楽しくレッスンできる効果も狙っている（例：表2）。音楽使用に関してはピアノ等の生伴奏は無く、CD、カセット・テープの使用が目立ち、使用時間は64～83%を占める（図1）。手拍子、声等によるカウントと併用される（計測上、指導者自身の声楽、器楽のみの時間は「使用せず」に分類。）。

4 分析

クラス中の音楽使用時間の割合は共通して高い数値を占め、音楽の重要性が確認された。また、指導者間で使用曲・振付には違いが見られたが、クラスの進め方に大きな違いは表れなかった。

なお、アンケートでは、指導歴の長い者ほど音楽に関するコメントの量が少なく、しかし、使用時間割合はこれに比例しない。クラス中の音楽は当たり前の事とし、まず人間としての教育の場であると捉えている事が推測される。

指導者は、飽きさせない為と同じレッスン内容でも曲を変えたり、生徒の好む明るい曲調のもの、リズムのはっきりした曲、生徒の知っている曲を選曲するなどの工夫も行なっている。

使用曲は指導者により異なり、「児童舞踊」といった看板の教室では童謡曲の利用が特徴的である。また、振付の解説時等には指導者自身による声楽や手拍子等も利用される。録音された音楽の使用とは異なり、指導者自身による歌曲や手拍子等は、指導者の呼吸運動をも伝達でき、音楽のリズムだけに影響を受けない動きのリズムの伝達を可能にするものと考えられる。舞踊と音楽の融合点を見出せるものであろう。

近年、日本舞踊や各地の民俗舞踊は、演奏者や歌い手の生な演奏と共に練習する機会が減り、レベルの低下が目立つという。幼児教育に見られた音楽との接点は広く舞踊の抱える問題と関わり、さらに新しく作品創りをする段階においても影響を与えると考えられる。

心身の発達が著しい幼児期の舞踊教育の指導者は、目的意識を持って、生の、また録音された声楽、器楽などを総合的に組み立てる必要があるだろう。

表1 アンケート結果（レッスンの目的・留意点 抜粋）

Dの場合 (29%)	Fの場合 (0%)
<ul style="list-style-type: none"> ・楽しくダンスができるようにし、音楽に合わせて踊ることと表現を豊かにする。 ・音に合わせて踊ることは注意している。 ・単純なステップでも体を十分に使って動けるようにする。 ・正しい姿勢作り ・柔軟性を養う ・リズム感を養う 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しくダンス 表現豊かに ・音に合わせて 身体の動かし方（ステップ） ・正しい姿勢 ・柔軟性 ・リズム感
<ul style="list-style-type: none"> ・まず、怪我をしないように ・楽しく ・運動（健康）として ・将来の趣味につながるように ・想像力豊かになるように 	<ul style="list-style-type: none"> ・怪我 ・楽しく ・運動 ・将来の趣味 ・想像力

*アンダーラインの箇所は音楽に関する回答

表2 レッスン内容と使用曲について（Gの場合）

レッスン内容	挨拶・お話し	フロア		挨拶・お話し
		柔軟・ストレッチなど	決まった曲での動きの練習	
使用曲		曲：キーボード3種	・曲なし・「動物の諸肉祭」・ディズニーの「ジババ・ディ・ウダー曲」・「踊り明かそう」・映画音楽「ブレイド」・ロック・キーボード	
曲調		リズムのあるメロディー	多種多様	
理由		リズム感を養う。楽しい気分させる。	様々な音楽に慣れ、いろいろな動きができるようにさせる	

*レッスン内容は時間の経過にそったもの。（左→右）

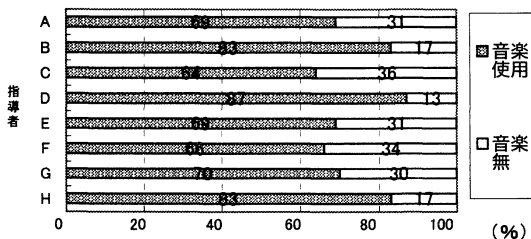


図1 音楽使用割合